

## 伊方原子力発電所安全監視センター（仮称）建設計画

### 1 建設の目的

伊方原発周辺住民の安全・安心と地域の環境を守るため、県では、環境放射線の常時監視、環境試料の放射能調査、発電所への立入指導等を実施してきたところであるが、各業務を担当してきた衛生環境研究所環境調査課（松山市）と八幡浜支局環境保全課原子力安全室（八幡浜市）を統合し、地元で安全監視と緊急時対策の拠点となる施設を新たに整備することで、より迅速かつ的確な対応を図る。

### 2 建設地

住所：八幡浜市保内町宮内 1 - 4 8 5 - 1 他 面積約 2 , 6 0 0 m<sup>2</sup>

### 3 建設予定期間

平成 2 1 年度～ 2 2 年度

### 4 建物設計概要

- (1) 鉄筋コンクリート 2 階建
- (2) 延床面積 約 1 , 7 0 0 m<sup>2</sup>
- (3) 外観イメージ 裏面のとおり
- (4) 設計のポイント

安全監視業務の機能性の確保対策

緊急時・防災対策（建築基準法の 1.5 倍以上の耐震性、浸水対策等）

環境・周辺配慮対策（温暖化対策設備の導入、建物の配置、外観、配色の配慮）

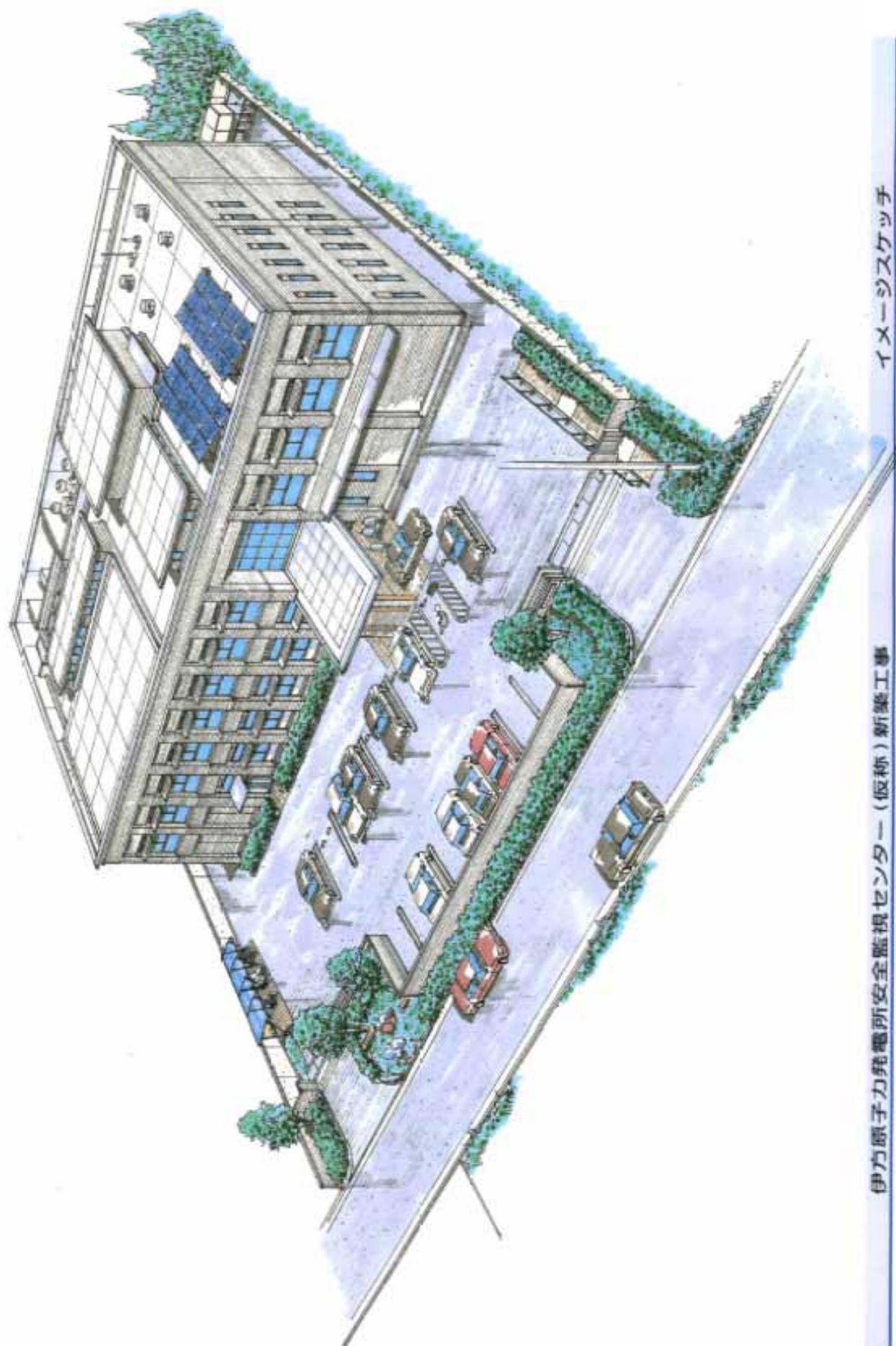
### 5 センターの機能・役割

- (1) 放射線監視テレメータシステムによる環境放射線の常時監視。
- (2) 環境試料中に含まれる放射性物質の調査・分析。
- (3) 伊方原子力発電所への立入調査による安全確認・指導。
- (4) 放射性物質の分析方法に関する調査・研究。
- (5) 緊急時モニタリングの実施。

# センター建設地位置図



至旧八幡浜市



イメージスケッチ

伊方原子力発電所安全監視センター（仮称）新築工事

## 伊方原子力発電所安全監視センター（仮称）の主な室の機能・用途

### [ 1 階部分 ]

室名	面積(㎡)	機能・用途
試料前処理室 電気炉室	7 6 3 2	土壌、海水、野菜、魚等の試料を仕分、裁断等し、電気炉等により濃縮、灰化する。放射能分析、化学分析へ
化学分析室	1 0 4	前処理した試料を酸等で分解し、特定の元素を単離する。化学測定へ
放射線測定室	8 6	ゲルマニウム半導体測定装置等を設置。前処理した試料の放射能を測定する。
化学測定室	4 3	原子吸光光度計、ICP-AES（誘導プラズマ発光分析計）を設置。化学処理した試料の元素分析を行う。
機器分析室	3 3	ICP-MS（誘導プラズマ質量分析計）を設置。化学処理した試料の放射能を測定する。
積算線量計照射室	6 4	放射線照射装置を設置。積算線量測定装置の校正を行なうため、積算線量計（素子）に環境レベルの放射線を照射する。
試料・資機材保管庫	9 3	採取・前処理した環境試料や可搬型の放射線測定装置等を保管する。
エントランス・展示ホール	1 9 2	

### [ 2 階部分 ]

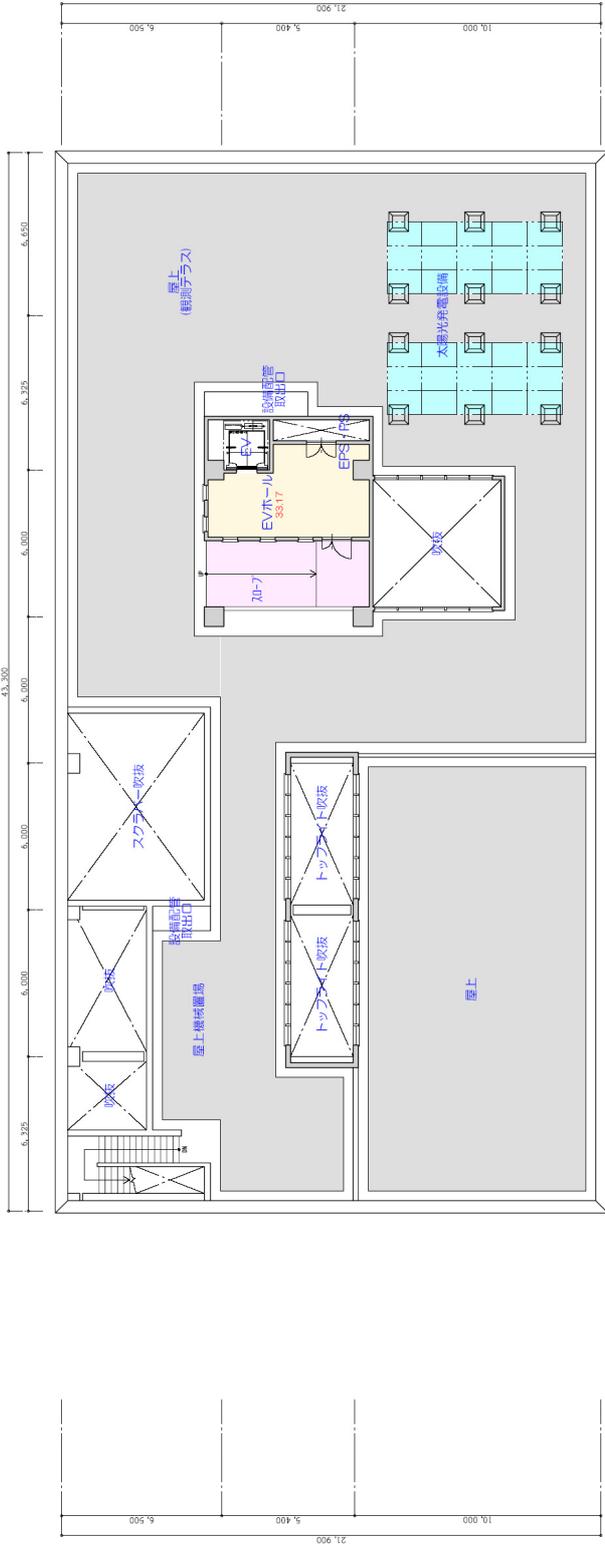
室名	面積(㎡)	機能・用途
テレメータ室	6 3	常時監視用テレメータ装置（通信機器・コンピュータ）を設置。モニタリングポスト等から伝送される放射線データの解析・監視・記録を行う。
会議室	大 1 2 1 小 5 2	放射能調査・測定に係る関係者との打ち合わせ。緊急時には「モニタリング本部」となり、現地モニタリング班からのデータの集約及び共有、住民避難や飲食制限などの防護対策の検討等を行なう。
電気通信機械室 発電機室	1 1 6	停電時のテレメータ・放射能分析機能を確保するため、ディーゼル発電機（120kW×24時間）を設置する。
事務室・所長室	9 4	職員等の事務を行う。
資料・文献室	3 0	技術資料・文献を保管する。
スクラバー室	6 0	化学分析室からの排気を安全に処理する。



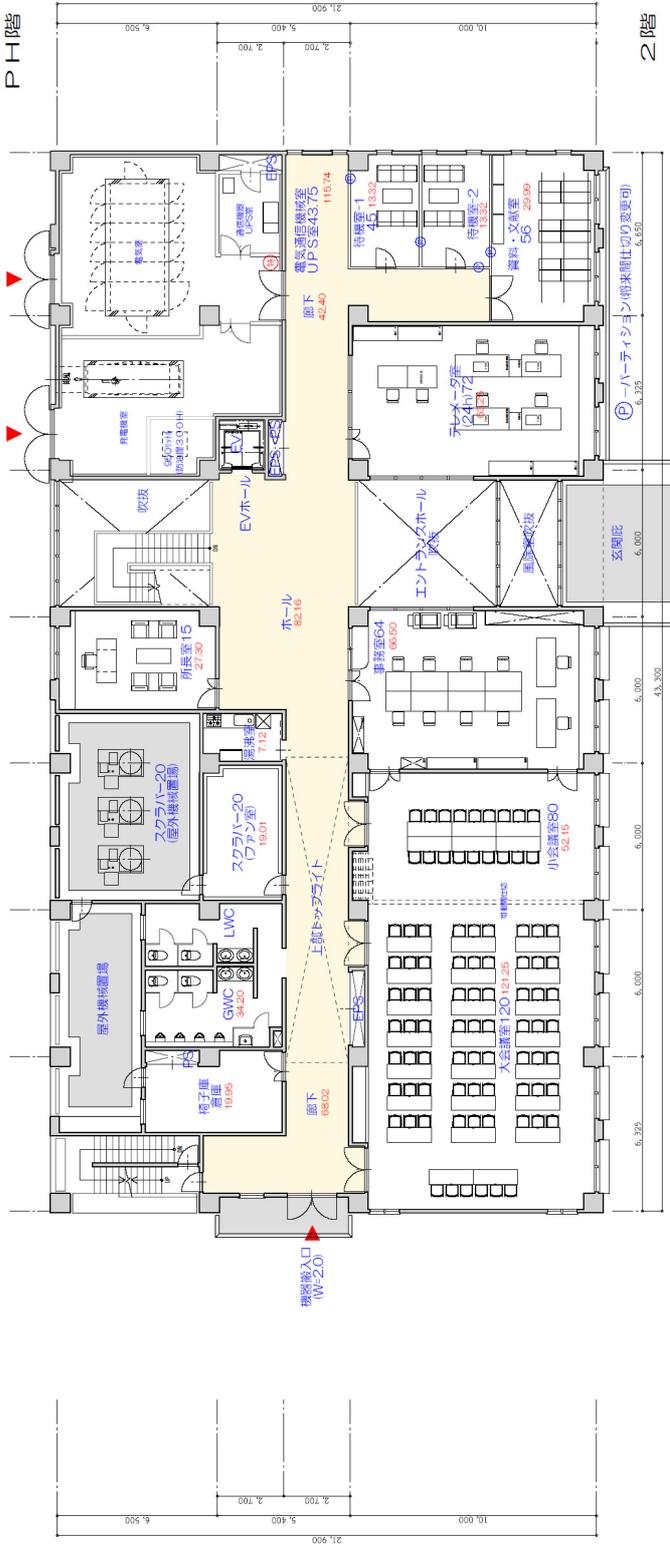
概要書

計画場所	八幡浜市東内町管内 T-485-1 地
用途地域	第1種住居地域 200%/60%
敷地面積	2,623.39㎡ (793.57坪)
	地籍測量図による

階	延床面積	単位	㎡
3 F	33.17		
2 F	775.69		
1 F	918.02		
合計	1,726.88		(522.36坪)



PH階 平面図



2階 平面図